

2023年11月6日

明石市長  
丸谷 聡子 様

中崎緑地の松林を守る会  
事務局連絡先 明石市太寺4丁目9-17  
E-mail : [nakasaki.ryokuchi@gmail.com](mailto:nakasaki.ryokuchi@gmail.com)

## 中崎緑地への消防分署建設計画についての意見交換会を継続する要請書

表記の計画について10月30日に開催された「説明会」ご苦労様でした。

この説明会は、8月25日に当会から丸谷市長宛に提出した「要望書」の中で求めた市長との意見交換会が「説明会」の形で開催されたものと受け止めています。

本計画は、緊急を要する消防車や救急車の出動に支障がある立地であること、および消防業務に必要な敷地面積の要件を欠いていることから、消防分署建設には物理的に不都合な立地です。また、新庁舎建設計画でもこの分署計画に基づき建設されると、新庁舎計画の重要なコンセプトとされている「明石らしさの表現」を阻害することや、せっかくの新庁舎の「品格」と「風格」、そしてせっかく残された「緑地」を台無しにしかねません。

これらに対する市側の説明は、現状認識と妥当性を著しく欠いた説明に終始し、到底市民の納得を得られるものではありませんでした。

現行庁舎では、緊急自動車の出動経路は4つのルートがあり、28号線の渋滞時には別ルートでの出動が可能です。これに対して中崎緑地への移転は、国道渋滞時や使用不能な状況が生じた場合には出動できないという根本的な欠陥を有しています。その危険性に耳を傾けず計画を強行すれば将来、関係部局だけでなく市長の重大な責任が問われるでしょう。

私たちは現計画が不適切であるという指摘にとどまらず、分署を西庁舎跡に建設し、中崎緑地の予定地を「市役所前しみん広場」として整備し、新庁舎北玄関口と一体化して活用できるようにして、中崎緑地内の市道とも一体化したイベント広場にも活用できる「無限大にひろがる庁舎前ひろば」として整備する「対案」を作成中です。新庁舎の周辺整備計画の一つとして、歴史的、景観的、緑地的価値を持つ中崎緑地を活かした整備によって、新庁舎の品格とグレードを高める方策の一つです。

分署計画の是非論という後ろ向きの議論を超えて、新庁舎計画をより有益なものとする方向へ、市民と市の意見交換を深めていきたいと考えています。

30日の説明会で浮上した疑問点を「公開質問書」として併せて提出します。上記の提案に沿って、消防分署の現行計画をいったん保留することを前提にして、市民参画によるよりふさわしい解決策をともに考えていくスタートにしませんか。

30日の続きの議論ではなく、この問題を一步前進させるために、新庁舎計画と分署計画を併せて議論する意見交換を再開するように要望します。

以上、よろしくお願ひします。